

ヨシイちゃんのひとりごと



カタフェセル

8月15日は、日本が敗戦した日。私が何時も思い出すことがある。少し家庭の事情が複雑で、昭和24年、育てて呉れていた「母」の口から「実子」でないと言われ、家を飛び出し、吉田中大路の「実家」で信者さんの男性と二人で住んだ。



（移転前は、我が家の二階が天理教の教会。この家（写真）は使える部屋は、一つしかないほどの荒れ屋だった。そこを片付けながら高校に通っていた。元々書き残し、当時から左翼系の新聞も読み、切り抜きを残した。そして、其の家の整理が済み、弟とその母が、其処に来ることになり、逆に私は、店今に所に戻った。



その様な文等を見られると困ると。その教会の庭の地中に埋めて、50〜60「年先に掘出そう」で嚴重に水が入らない様にし、土製の壺に入れ土中に埋めた。今風に言えば「タイカフェセル」。他人に掘り起こされた場合の為に、連絡先も記して。



七条の店に帰り、酒問屋の仕事を手伝った。店は一度破産寸前、家庭的にも波乱はあったが、何時も寸前に救われ、私の上の世代の親族は、全て没し、今日にいたる。最近になって、60年前に埋めた「壺」を思いだ。

越えて国民

党政府崩壊

は近いと思っ

た。父のいる所

に持ち帰り、お騒がせしました。何時か必ず掘り出します。もうチョイお待ちを。

暑中お見舞い申し上げます。石動紋子

間違えて、生ごみを出して出るところだった。10米ほどで、それは明日のことと気がついた。ではない。恐れている事の始まりではない。恐れている事。なぜなら、最近気になったニュースは？と聞かれたら、山ほどの答が出てくる。プールに行つては、泳ぎもせんと、世界の、日本の話題のお喋りに熱中している。これは、大丈夫のひとづの証とか。

稲荷山

ぶらり散策記 越智薫

今回は伏見稲荷大社の南

JR稲荷駅から東に進むと伏見稲荷大社があり、その南側には学問・受験の神として知られる東丸神社があります。江戸中期の国学者、国学者四大人の筆頭、荷田春満を祀った神社です。越後長岡藩主牧野家から扶持を受け、幕府からも和書の鑑定を求められていました。晩年の弟子に賀茂真淵がいます。

も群れてはゲットに奔走という。その年頃なら、生涯の職業や伴侶を探さなあんときでしように。罪もこれ以上増える、としたら、いつの間にか高齢者に押し上げられた者は、絶滅の危機に瀕している草のように心もとない。

石段を上ると七面山です。東山36峰稲荷山の南37峰目です。頂上付近には、七面大明神を祀る七面宮があります。七面大天女が祀られており、この七面大天女は吉祥天で、岩に座して右手に鍵、左手に宝珠を持っています。



石動紋子 稲荷山

七面山の石段を下がると宝塔寺です。この多宝塔は応仁の乱の兵火をまぬがれた貴重な重要文化財で室町時代初期の永享10年(1438年)に創建されたものです。京都市内で最も美しい形姿を備えた多宝塔と言われています。小ぶりですが、バランスの良い多宝塔が私は好きです。

京都&東山
ぶらりピカリ 70

七条通 ⑩

三条四
条は、繁
華街も有っ
て華やいだ通り、七条は、それに
比べると地味な通り。だが、現実
は、この通り程プライベート豊かな
通りは他には無い。ドンツキのな
だらかな東山の阿弥陀峰頂上に豊
臣秀吉公の墓



所(写真)・その
山裾には、京
都女子学園妙
法院、京都国
立博物館、三
十三間堂、京
阪電気鉄道七条駅、七条大橋、烏
丸通下ルに京都駅 駅の北に、過っ
て「丸物」といわれ百貨店は、
ヨドバシカメラ」と名を代え今
もある。



七条通り烏丸通上る 巷 には、
真宗本廟 東本願寺)。堀川通西
側に興正寺と西本願寺。大宮通り
に、龍谷大学学舎、更に西の近
くに梅小路公園 京都水族館、京
都鉄道博物館、京都市中央卸売
市場第一 市場と続
く。なんとオマケ
に渋谷街道脇には
大葬場(写真)「ま
で有るのだ。こん
な重宝な通りは、
京都中、否、日本
中で七条通りの他
にはないだろう。



跡地に戻るとか。高齢化率の高い
東山区は、若者の街のなるだろう。
七条通りの皆さん頑張りましたよ
うぞ!



いに巨大な石垣と、家康の大阪城
攻めの遠因になった方向寺の「圍
家安康」の一釣鐘で残っている。
そんな、好立地に
の上に、来年には、
京都美術工芸大学
東山キャンパスが
出来る。更に、数
年後?に、京都芸
大」が崇仁小学校



大仏餅」の店
が、イメージ絵は昔
まですりかた30年頃
まで有ったが、取
り壊され無くなっ
た。大仏殿の名
残は、博物館館、
西側の大和路沿

市電が走った
京都を巡る 66
福田静二



北大路新町
を出発した
市電は、左
手に立命館中学 高校の校舎を見な
がら進みます。前号でも紹介しまし
たように、この付近の北大路通は斜
めになっていて、東北方面に向かっ
て進みます。やがて少し右に曲がり、
もと通りに、ほほ東に向かつて進む
ようになります。車窓には商店が見
えてきて、賑やかさが感じられるよ
うになります。左手の関西電力の上
営業所の建物を過ぎると、市電のレ
ールが複線状態で北へ分岐していきま
す。そして、つぎの停留場 烏丸車
庫前」に到着です。

庫は、大正十四年、烏丸線の延長・
開通と同時に開設されました。奥が
深い構内で、車両の点検、留置に使
われており、京都市電に四つあつた
車庫のなかでは最大の車庫でした。
配置車両も、たとえは最盛期の昭和
四十二年には一五両と、市電全車
両の三分の一を擁していました。ま
た乗務員の詰め所もあり、運転士・
車掌の交代があつて、市電も時間調
整でしばらく停車することもありま
した。烏丸線をはじめとして、市の
中心部を受け持ち、北大路線を行く
4・5・6・15系統も烏丸車庫の受
け持ちで、系統板の色は緑色でした。
つねに最新の車両が配置されてい
たのも烏丸車庫の特徴で、昭和五十
三年の市電全廃時まで営業を続けま
した。



烏丸車庫前に到着、
乗務員の交代も行われる

烏丸車庫前からは、南へ烏丸線を
分岐しています。ここを始終発とす
る市電も多く、停留場周辺は終日に
わたって乗客で賑わい、京都市北部
の交通節点として位置付けられて
いました。低い家並みの向こうには、
比叡山がはつきり望めたのも、この
交差点でした。
市電がなくなつてから、烏丸車庫
の跡地は、のちに建設される地下鉄
烏丸線の工事基地となり、開通後は
地下鉄北大路駅と車両基地になりま
した。車両基地が竹田に移転後は、
地上はショッピングセンターの北大
路ビブレ、地下部は地下鉄北大路駅
とバスセンターが併設されました。
いまや付近は、すっかり北大路駅前
が定着し、烏丸車庫の名を言つて
も、若い世代には通用しなくなりま
した。



京都市北部の
結節点として「きわち

市電時代の烏丸車庫前には大型の
店舗はなく、多くの商店が並んでい
ました。北大路通の南側には、間口
が数メートル、当時はよく見られた
小さな書店がありました。その書店
が、いまは何店舗もの大型店を持っ
て、京都を代表するチキ書屋へと成
長します。前記の北大路ビブレのな
かにも、この書店があります。
ここからは約的な話となりますが、
昨年私が京都市電の本を出版した
時には北大路ビブレの通路に特設ワ
ゴンを出していたとき、大々的な販
売キャンペーンをしていただきました。
店長にお伺いすると、ここが
市電車庫の跡地であることを来店客
にも知ってもらいたくて」とのお話
しをいただきました。市電の話を、
今でも思っていただいている方がお
られ、胸が熱くなったことでした。

